

令和6年能登半島地震

道路の本格復旧・復興に向けた連絡調整会議(第11回)

日時: 令和7年1月15日(木) 10:00～

場所: WEB 会議形式

次 第

1. 開会
2. 座長挨拶
3. 議事

(1) 国県道の復旧・対応状況

(2) 市町道の復旧状況

(3) 今後の見通し

(4) その他

4. 閉会

.....

令和 6 年能登半島地震
道路の本格復旧・復興に向けた連絡調整会議（第11回）

出席者名簿

（敬称略）

所属	役職	氏名	備考
【国土交通省】			
北陸地方整備局 道路部	道路部長	竹林 秀基	座長
金沢河川国道事務所	事務所長	五十川 泰史	
能登復興事務所	事務所長	杉本 敦	
【石川県】			
土木部	土木部長	本田 琢	
【自治体】			
輪島市	建設部長	福尾 原悟	代理：土木課長 登岸 浩
珠洲市	環境建設課長	大宮 準司	
七尾市	建設部長	横川 俊充	代理：土木課長 鷹合 豊勝
能登町	建設水道課長	内糸 英和	
穴水町	地域整備課長	金谷 康宏	
志賀町	まち整備課長	前田 稔	代理：課長補佐 浜辺 淳成

【事務局】

北陸地方整備局 地域道路課



金沢河川国道事務所

能登復興事務所

石川県土木部 道路建設課

道路整備課

■県道以上の通行止め（被災）箇所数

	R6年1月1日 (地震直後)	R6年9月22日 (大雨直後)	R6年12月27日 (年末時点)	R7年3月31日 (年度末時点)	R7年9月30日	R7年12月23日
大雨による通行止 (R6.9.20～) 	—	48箇所 →	8箇所 →	6箇所 →	5箇所 →	4箇所 〔うち1箇所は、緊急車両※2通行可〕
地震による通行止 (R6.1.1) 	87箇所 →	14箇所 →	11箇所 →	11箇所 →	8箇所 →	6箇所 〔うち1箇所は、緊急車両※通行可〕



◆ 海岸隆起部を活用

◆一般車両を含め1車線通行確保済(R7.4.25) ◆一般車両を含め1車線通行確保済(R7.12.23)



◆ 海岸隆起部を活用

◆一般車両を含め1車線通行確保済(R7.12.23)








◆一般車両を含め2車線通行確保済(R7.7.17)



◆一般車両を含め通行確保済(R7.11.28)



凡 例

-  通行 possible の区間
(緊急車両※1が通行可能な区間を含む)
(太線は奥能登2市2町への主要ルート)
-  通行止め継続の区間
-  緊急車両※1通行 possible の箇所
-  通行止め継続の箇所(地震)
-  通行止め継続の箇所(大雨R6.9)

※:緊急車両には、地元車両を含む

- 道路の復旧にあたっては、国・県・市町が連携して情報共有や調整を進め、令和7年12月時点では、国道・県道で10箇所、市町管理道路で72箇所となっている（R6大雨直後から115箇所を解除）。
- 道路の復旧については、地震、豪雨の発災直後より復旧工事に着手し、これまでに集落や市の主要施設、被災家屋等の解体撤去など早期復旧・救急活動等に必要となる道路について、応急復旧により通行を確保済である。残る箇所については、市街地部の再建など市町全体の復旧方針を踏まえ、優先順位を検討のうえ進める予定。

（単位・箇所）

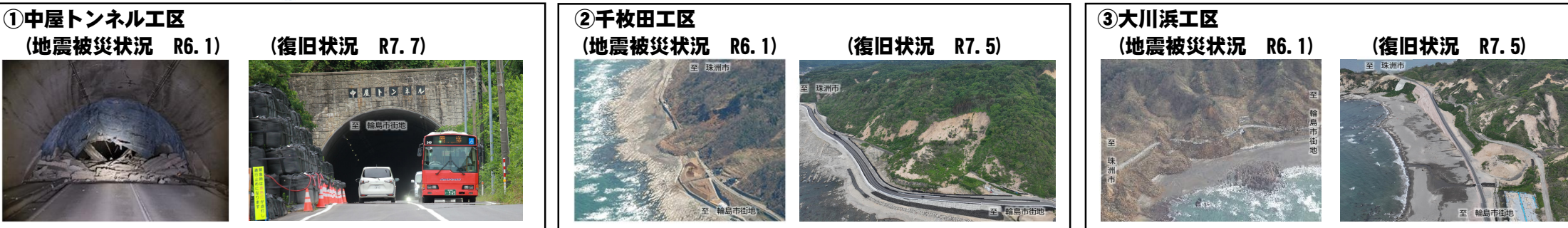
		令和6年				令和7年		
		発災直後 1月1日	8月31日	大雨直後 9月22日	発災1年後 12月27日	発災1年半 6月30日	大雨1年後 9月30日	発災2年後 12月23日
通行止め箇所数								
国道・県道		87	14	62	19	15	13	10
市町道		多数	約50	135	82	75	73	72
	輪島市			101	58	58	58	58
	珠洲市			25	15	9	7	6
	七尾市			2	2	2	2	2
	能登町			5	5	4	4	4
	穴水町			0	0	0	0	0
	志賀町			2	2	2	2	2

※：国道は、直轄権限代行箇所を含む。

※：市町道は、1・2級幹線道の個所数であり、道路の被災箇所総数を示すものではない。

※：復旧にあたっては、上記以外の被災道路を含めた被災道路の現状を踏まえ、優先順位を検討のうえ進める。

- 迂回路となり得る県道・市道の有無や、隆起海岸と崩落土砂の到達範囲などを加味した本復旧方針を基に、**原位置復旧**や**隆起海岸を活用した別線復旧**及び**トンネルによる別線復旧**を**実施中**。
- 権限代行区間約53km全区間の本復旧は、用地取得や大型構造物の施工等が順調に進んだ場合、**令和11年春迄の完了**を予定しています。
- 令和6年能登半島地震から5ヶ年程度での本復旧完了を目指し、一日でも早い本復旧完了に向け工程短縮を図っていきます。



能越自動車道等 走行性確保・本復旧の見通し

- 能越自動車道等は**甚大な被害のあった奥能登地域に繋がる復旧・復興の大動脈となる路線**であり、復旧の費用や期間などを総合的に比較検討した本復旧方針を基に、**原位置復旧**や**既存用地を活用した復旧**を**実施中**であり、**令和7年内に震災前と同程度の走行性確保(急カーブ・段差の解消)**を予定しています。
- のと三井IC～のと里山空港IC、徳田大津IC～(仮称)病院西ICについては、**令和9年春迄の本復旧完了**を予定しています。
- なお、残る区間については、大規模崩壊箇所の崩土撤去及び大型構造物の施工等が順調に進んだ場合、**令和11年春迄の本復旧完了**を予定しています。
- 引き続き、一日でも早い本復旧完了に向け工程短縮を図っていきます。

走行性確保のイメージ(のと里山海道14.7kpの事例)

【応急復旧後】



R6.7
対面通行確保

【走行性改善(昨冬)】



R6.12
冬期走行の安全性確保

【走行性確保(令和7年内)】

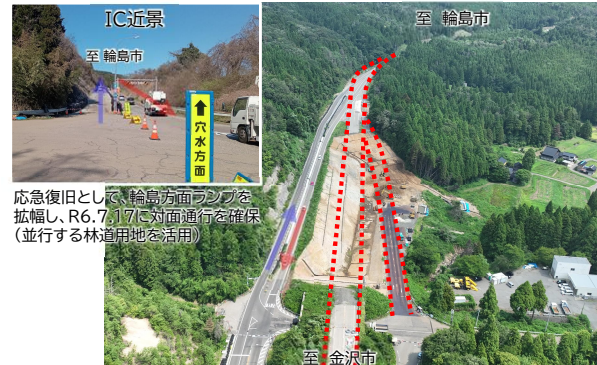


震災前と同程度の
走行性を確保

復旧状況(のと里山海道10.9kpの事例 ※横田IC周辺)

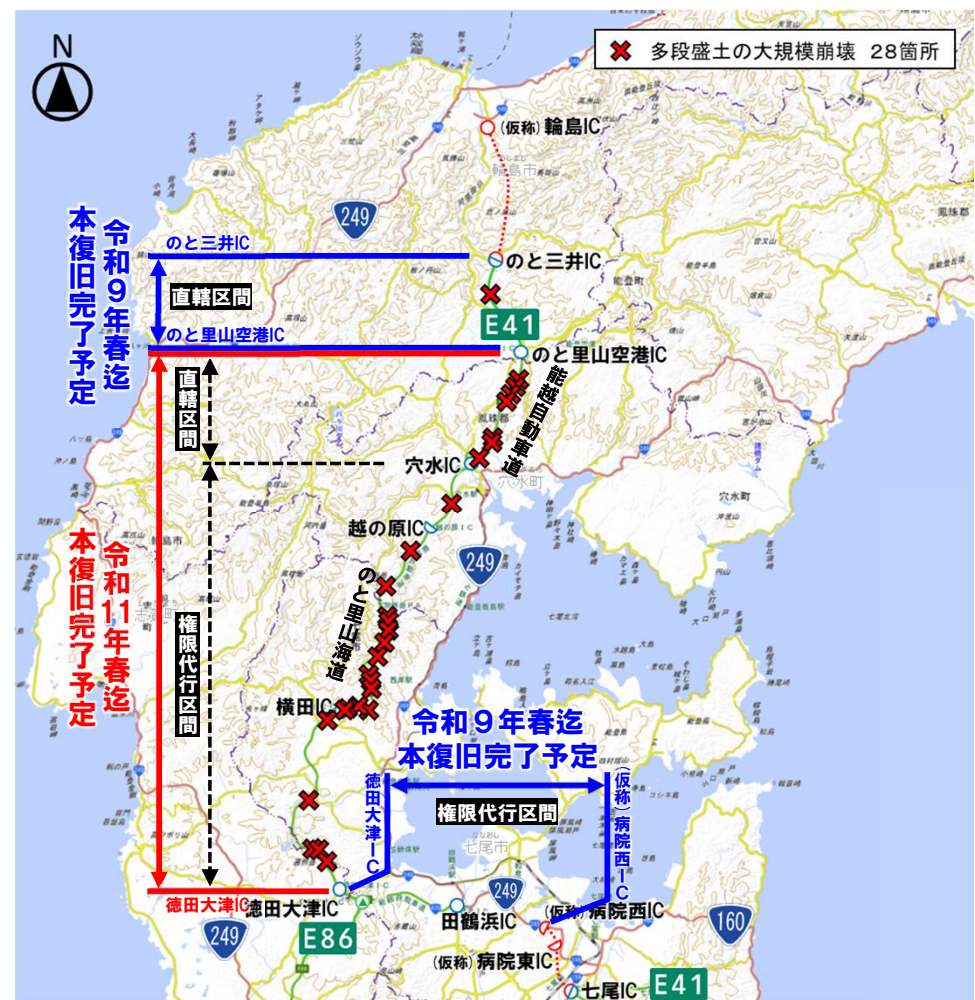


被災直後
(本線・金沢方面オフランプ大規模崩壊)



復旧状況
(本線・金沢方面オフランプの崩土撤去状況)

本復旧の見通し



復旧・復興の状況（県管理道路）

資料 2 - 6



- 能登の県管理道路は**地震・豪雨により広範囲にわたる甚大な被害を受けたが、関係者のご尽力により順次、通行止めの解除が進んでいる**
- 通行止め箇所は、大規模被害が発生した等の5路線10箇所を除き年末で応急復旧が完了**
→残る通行止め箇所：地すべりやトンネル崩落による大規模な被害が発生した4路線7箇所
昨年8月の大雨により追加対策が必要となった3路線3箇所

県管理道路 (通行止め)

＜発災直後＞
【地震】42路線 87箇所
【豪雨】25路線 48箇所

▶＜令和6年末＞
10路線 19箇所▶

5路線 10箇所▶

＜令和10年度末＞
1路線 2箇所

トンネル新設を伴う珠洲里線
(はR14までの解除を目指す)

道路の 復旧状況

